

NOUVEAU
PETIT
ROYAL
DICTIONNAIRE
FRANÇAIS-
JAPONAIS

PETIT
ROYAL
DICTIONNAIRE
FRANÇAIS-
JAPONAIS

ロワイヤル仏和辞典

倉方秀憲

早稲田大学

東郷雄二

京都大学

春木仁孝

大阪大学

大木充

京都大学

田村毅

東京大学

吉田城

京都大学

恒川邦夫

一橋大学

牛場暁夫

慶應義塾大学

石井洋二郎

東京大学

福井芳男

東京大学名誉教授

支倉崇晴

東京大学

プチ・ロワイヤル仏和辞典 [改訂新版]

初 版 発 行 1986年 1 月10日

改訂新版発行 1996年 1 月10日

重 版 発 行 2002年

編	者	倉	方	秀	憲
		東	郷	雄	二
		春	木	仁	孝
		大	木		充
		田	村		毅
		吉	田		城
		恒	川	邦	夫
		牛	場	曉	二
		石	井	洋	郎
		福	井	芳	男
		支	倉	崇	晴
		赤	尾	文	夫
発	行	株	式	旺	文
発	行	所	社	社	社

東京都新宿区矢来町78 〒162-8680

編 集 協 力	日本アイアール 株式会社
印 刷 所	大日本印刷 株式会社
付 物 印 刷 所	三興印刷 株式会社
製 本 所	株式会社 市川製本所
製 函 所	清水印刷紙工 株式会社

●乱丁・落丁については送料小社負担にて お取り替えます。

●お客様相談窓口 Tel. 03 (3266) 6400

●ホームページ <http://www.obunsha.co.jp/>

SIJ022

© Kurakata, Togo et al. 1996

(許可なしに転載、複製することを禁じます)

ISBN4-01-075302-1

Printed in Japan

◇旺文社「図書案内」をご希望の方にお送りいたします。
 下記フリーダイヤルにご連絡ください。
 ◇旺文社には本書以外にも多数の出版物がございます。
 お近くの書店で品切れの場合は、下記までご相談ください。
お客様専用フリーダイヤル 0120-02-4819
 (受付時間は土・日・祝日を除く9:30~17:30)

まえがき

フランス語使用者の広汎で多様な要請に応えるべく、1985年の『ロワイヤル仏和辞典』の刊行を皮切りに、その翌年には『プチ・ロワイヤル仏和辞典』が、続いて『ロワイヤル・ポッシュ仏和・和仏辞典』、さらに『プチ・ロワイヤル和仏辞典』が世に送り出された。このロワイヤルシリーズは、幸いにして幅広い利用者に歓迎され、ご好評をいただくことができた。われわれロワイヤルシリーズの編纂にたずさわった者は、各方面から寄せられた支持に意を強くするとともに、評価にそむかぬようできる限り内容の整備充実をはかることが責務であると考えて、数年前から『プチ・ロワイヤル仏和辞典』の全面的な改訂作業を進めてきたが、ようやくここに、内容を一新した改訂新版を出版するはこびとなった。改訂にあたっては、旧版のすべての項目について、その語義の展開・訳語・用例・解説などを「現用主義」の立場から再吟味して、全面改稿も含む思い切った修正・加筆を行い、新語や外来語・略語・人名・地名などを大幅に追加した。また、旧版から受けついだものも含めて、以下に挙げるような様々な工夫（これらの中には仏和辞典としての初めての試みも数多くある）を盛り込むことによって、初級者にも使いやすい「学習辞典」としての性格をより明確に打ち出した。

1. 引きやすく、わかりやすいために

- ◇検索を容易にするために、重要語は赤字の見出しとし、ランクに応じて星印を付け、最重要語には大活字を使用した。成句についても同様の配慮をした。
- ◇初級者がいなくフランス語の読み方に対する不安を取り除くために、重要語には発音記号と並んで、カナで近似的発音を示した。
- ◇語義の展開は原則として現代日常フランス語における頻度順とし、重要語義が一目でわかるように、また記憶にも便利のように、代表的な訳語を太字で示した。
- ◇見出し語の意味・用法の概略を把握するための一助として、対応する英単語を必要に応じて表示した。
- ◇特に動詞については、主語や目的語との関連が的確に把握できるよう、訳語の表記を工夫し、構文指示を明確にした。

2. 理解を深めるために

- ◇同一語における冠詞の使い分け、単数・複数の区別、表す意味の違いなどがよく理解できるように、重要な名詞には可算と非可算の区別を○と□で示した。
- ◇見出し語の使い方について特に注意すべき点を「ポイント」で指摘し、必要に応じて「概念イラスト」で中心的な意味を図示した。
- ◇類語間の意味の差異や使い分けについては、「類語」欄で要点を解説したり、「類語パネル」で簡明に表示した。
- ◇従来の「文法囲み」欄に加え、巻末に平易な「文法解説」を載せて、フランス語文法の基本的事項が体系的に理解できるようにした。

3. 実用情報を得るために

- ◇日常会話でよく用いられる基本的な表現と決まり言葉を、「重要会話表現」や「会話表現」として囲みにした。
- ◇会話での応答や合いの手として利用価値の高い表現を、「会話つなぎ表現」として囲み、使い方の解説と用例を添えて示した。
- ◇実際のコミュニケーションの場で重要な役割を果たす「ジェスチャー」を、説明文

とイラストで示し、そのジェスチャーと一緒に使われる表現をまとめた。

◇その他、囲みやイラストや巻末付録で、フランスの生活・社会情報、文化的背景について様々な情報を収載した。

4. 一歩進んだ学習のために

◇単語を系統立てて覚えて語彙を増やすことができるように、重要語についてはその関連語や反義語・対語を示した。

◇語の由来や成立への興味に応え、意味の理解への助けともなるように、外来語・借用語には必要に応じて語源を示し、派生語はもとになった語を示した。

◇同様の趣旨で、接頭辞や語形成要素を本文中に見出し語として立て、また巻末に接尾辞の詳細な一覧を掲載した。

◇巻末に、簡便な和仏索引の機能を果たし、フランス語作文にも利用できる「日本語索引」を設けた。

今回の刊行に当たっては、株式会社オービーエスエディタの辞書制作グループの方々、日本アイアール株式会社の仏和辞典編集部の方々に大変にお世話になり、ご苦勞をおかけした。改めて心から感謝の意を表する。

今後もよりよい学習仏和辞典を目指してさらに努力を重ねていく所存である。各位からいっそうのご教示を賜りたい。

1995 年 11 月

編集委員

編集委員

倉方 秀憲

東郷 雄二

春木 仁孝

大木 充

田村 毅

吉田 城

恒川 邦夫

牛場 暁夫

石井 洋二郎

福井 芳男

支倉 崇晴

執筆協力

Olivier Birmann

André Geymond

編集協力

相沢 のりこ 上原 眞起 梅比良 節子 岡田 直

片岡 都 川端 八千恵 桑田 健 坂本 理抄

竹井 誠 中島 伸子 中島 弥生子 松本 佳子

三浦 恵 森川 邦子 山田 緑子 (五十音順)

日本アイアール株式会社

地図制作

木川 六秀

イラストデザイン

イエローバック／大津 永介

版下制作

サンプロセス

マウント企画

資料提供

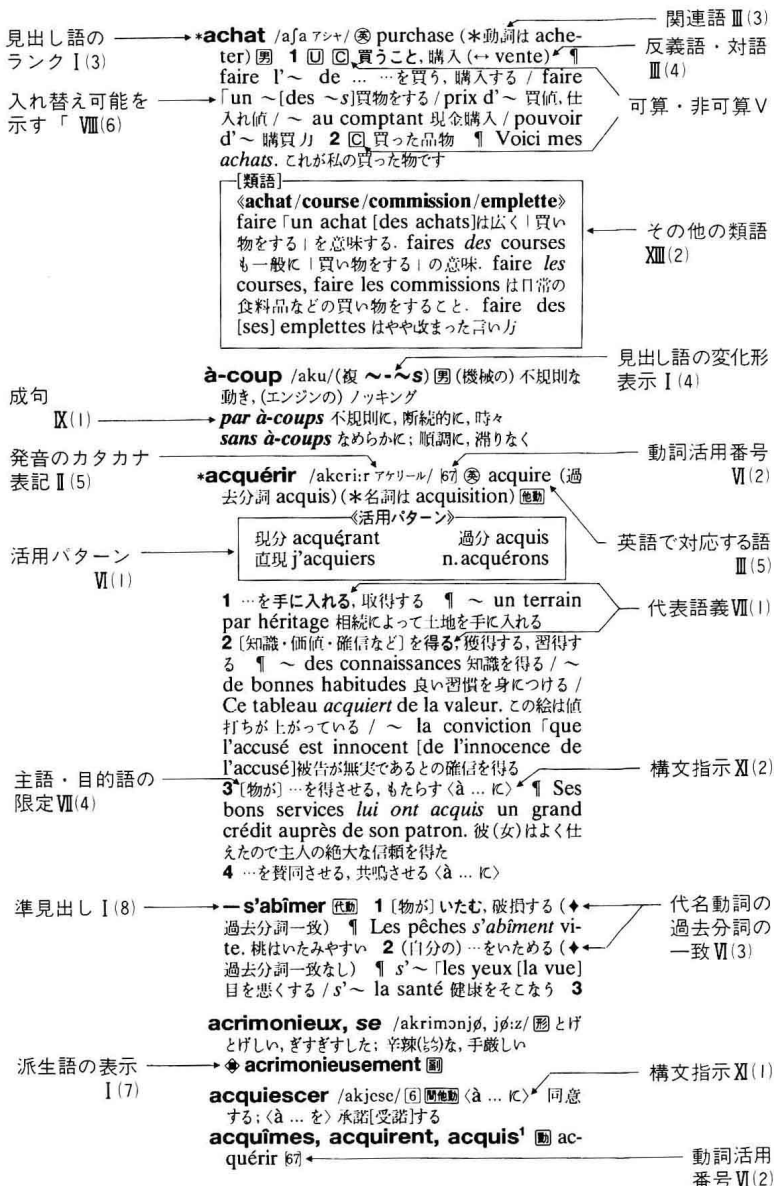
フランス大使館広報部資料室

フランス大使館文化部

フランス政府観光局

フランス食品振興会

解 説 図



additionner /adisjɔ̃n ｱﾃﾞｨｽｿﾞｼｮﾝ/ 〔他動〕〔数〕を
 足す, 加算する, 合計する ㊦ ～ 14 et 17 14と17
 を足す / ～ trois nombres 3つの数を合計する ㊦
 ㊦ <～ A à B> BにAを足す, 加える : ～ des
 colorants aux aliments 食品に着色料を添加す
 る ㊦ <～ A de B> AにBを混ぜる: ～ le vin
 d'eau ワインを水で割る
 — **s'additionner** 〔自動〕加えられる; 積み重なる

用例中の構文
 指示Ⅻ(3)

派生語Ⅲ(2)

見出し語のランク → ***affaire** /afɛ:r ｱﾌｴｰﾙ/<à + faire> ㊦ ㊦
 I (3) ㊦ affair, business, matter

1 (何かにかわる) 事柄, 問題; 用事, 用件, 仕事
 ㊦ J'ai une affaire urgente. 私は急ぎの用件が
 ある / C'est une autre affaire. それは別の問題
 だ, 話が別だ

重要成句Ⅸ(2) → ***avoir affaire à ...** …に用〔話〕がある, …を相手にす
 る ㊦ J'ai affaire au directeur. 私は部長に
 用がある / Si tu dis du mal d'elle, tu auras
 affaire à moi! 彼女の悪口を言うなら私が相手
 になるぞ

有音のh, y → ***hanté, e** /ãte ｱﾝﾃ/ ㊦ 1 幽霊の出る ㊦ mai-
 son ～e 幽霊屋敷 2 (妄想などに) 取りつかれた

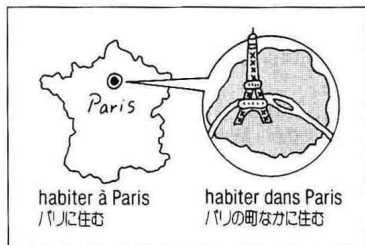
類語パネルⅫ(1)

écrire	文字を	書 く	か
rédiger	文章を		
composer	詩・曲を		
peindre	絵を絵の具で	描 く	く
dessiner	絵・図形を線で		
tracer	図形を線で		

ジェスチャー・
 イラストⅩⅤ(1)
 「la いやはや」



概念イラストⅩⅤ(2)
 à と dans



この辞典の使い方

I. 見出し語

見出し語の範囲

- (1) 一般語彙に加えて、人名・地名などの固有名詞、略語、接頭辞なども収録し（接尾辞は巻末に収録）、あわせてわかりにくい動詞の変化形、名詞・形容詞の女性形・複数形なども見出し語として立てた。

見出し語の並べ方

- (2) 見出し語はアルファベット順に並べてある。sur と sùr のように同一綴りの語は、アクセント記号のないもの、あるものの順に並べてある。また、同一綴りで大文字と小文字の違いのあるものは、大文字で始まる語を先に配列した。

重要語の表示

- (3) 語彙の重要度に応じて、次のようにランク付けをしてある。

- * A ランク (赤大見出し) 約 550 語
- * B ランク (赤並見出し) 約 1050 語
- * C ランク (赤並見出し) 約 2600 語
- 無印 D ランク (赤並見出し) 約 7200 語
- 無印 E ランク (黒並見出し) 約 26600 語

見出し語の変化形の表示

- (4) 見出し語が性・数によって変化する場合、変化する部分を次の例のようにイタリック体で示した。名詞・形容詞の複数形が原則通り -s で終わるものは、特に指示していない。単数形の語尾が -s, -z, -x で終わり、複数形でも変化しないものも、特に指示していない。

見出し語	男性単数形	女性単数形	男性複数形	女性複数形
vacant, e	vacant	vacante	vacants	vacantes
cadet, te	cadet	cadette	cadets	cadettes
actif, ve	actif	active	actifs	actives
léger, ère	léger	légère	légers	légères
légal, ale (明復 aux)	légal	légale	légaux	légales
agneau (複 ~x)	agneau	—	agneaux	—
pont-levis (複 ~s →)	pont-levis	—	ponts-levis	—

- (5) 冠詞、前置詞、再帰代名詞などを伴う見出し語は、その部分を () で示して、見出し語の後に置いた。

improvisiste (à l') = à l'improvisiste
prélasser (se) = se prélasser
Mans (Le) = Le Mans

- (6) 見出し語の綴りのうち、省略できる部分は () に入れて示した。
entre(-)temps = entre-temps または entre temps

派生語の表示

- (7) 見出し語の派生語で意味がすぐわかるものは、その項目の最後に ◆ で示した。

amiable ㊦ 1 和解的な、示談の…

◆ **amicalement** ㊦

この例では, **amiablement** は「和解によって」「示談で」という意味の副詞であることを意味する。

準見出し

- (8) 見出し語が 2 つ以上の品詞で用いられ、品詞が変わると見出し語も一部変わる場合は、一記号の後にその綴りを示した。

liseur, se 図 読書家

— **liseuse** 図 ブックカバー

agacer 他動 1 …をいらだたせる

— **s'agacer** 他動 いらだつ…

II. 発音

発音の表記

- (1) 見出し語の発音は、発音記号 (国際音声字母) を用いて / / で示した。それぞれの音の発音は、巻末に詳しく絵入りで解説してある。
(2) 発音のうち、省略することがある部分は () に入れて示した。

août /u(t)/

この場合、/u/ と /ut/ の両方の発音があることを意味する。

- (3) 発音のうち、交替可能なものは [] に入れて示した。

hôtel /o[ɔ]tel/

この場合、/otel/ と /ɔtel/ の両方の発音があることを意味する。

- (4) 名詞・形容詞の女性形・複数形の発音は、/ / のなかでコンマで区切った後に、変化する部分を示した。

attentif, ve /attâif, i:v/

national, ale (男複 **aux**) /nasjonal, o/

カタカナ表記

- (5) 重要語については、発音記号とならんで、カタカナを使って近似的な発音を示した。鼻母音は **an** /ã アン/ のように、小文字の「ñ」で示した。カタカナによる発音表記はあくまで、フランス語を学び始める人にとっての最初の目安にすぎない。従って、最初のうちはカタカナ表記に頼るとしても、なるべく早く発音記号に慣れ、正しい発音を身につけてもらいたい。

有音の h, y

- (6) リエゾン・エリジョンしない有音の **h** と **y** で始まる語は、見出し語の頭に†をつけて示した。

注意すべき発音

- (7) 特に発音に注意すべき見出し語には (＊発音に注意) などと付記して注意をうながしてある。
(8) 用例・成句中の語句でも、特に発音に注意すべき場合は / / で発音を示した。

III. 語源・派生語・関連語など

外来語

- (1) 外来語・借用語の語源は、必要に応じて () に入れて示した。

manager (英) マネージャー

aïkido (日本語) 合気道

派生語

- (2) 派生語は、もとになった語を見出し語の後に < > に入れて示した。

élargir <large>

この場合は、**large** 「幅の広い」という語がもとになって、**élargir** 「… (の幅) を広げる」という語ができていていることを示す。

関連語

- (3) 関連する語を訳語の後に () で示したものもある。

certain, e 確かな、確実な (*名詞は **certitude**)**agneau** 1 子羊 (*羊は **mouton**, 雌羊は **brebis**)

参照すべき語は、訳語の後に ⇒ で示した。

vache 1 雌牛 ⇒ **bœuf**

反義語・対語

- (4) 特に重要な語については、反対の意味の語や対になる語を、訳語の後に (↔) で示した。

bonheur 幸福、幸せ (↔ **malheur** 不幸)**père** 父、父親 (↔ **mère** 母)

英語で対応する語

- (5) 重要語には ㊦ の記号の後に意味的に対応する英語を示した。

couper ㊦ cut**plutôt** ㊦ rather

IV. 品 詞

品詞の表示

見出し語の品詞は、㊦、㊧、㊨、㊩のように略語で示した(㊦は男性名詞としても女性名詞としても用いられるもの、㊧は男性名詞、㊨は女性名詞、㊩は形容詞)。見出し語が2つ以上の品詞として用いられるときは、一の後示した。

contraire ㊦ 反対の、逆の

一 ㊦ 反対、逆

次のように2つの品詞を並べて示したものもある。

éhonté, e ㊦、㊧ 恥知らずの(人)

V. 可算・非可算

㊪と㊫

- (1) D ランク以上の重要な名詞については、可算名詞を㊪、非可算名詞を㊫で示した。フランス語では可算は **comptable**、非可算は **non-comptable** というが、英和辞典で定着している㊪㊫の表記を採用した。

- (2) 品詞記号のすぐ後に㊪㊫があるときは、その語はすべての語義について可算的、もしくは非可算的に用いられることを意味する。

ami /ami/ ㊪㊫ 1 友達、友人 2 恋人、愛人 3 愛好者
語義ごとに㊪㊫を示したものもある。この場合は、見出し語がどの意味で使われるかによって、可算・非可算が異なることを意味する。

bœuf /boef/ ㊪ ㊫牛 2 ㊫牛肉

可算的にも非可算的にも等しく用いられる場合は㊪㊫と表記した。

この辞典で示した㊪㊫の区別は、あくまで初学者のための目安である。㊪とある名詞でも可算的に使える場合があるし、その逆もちろんある。なぜなら、フランス語では、「いかなる名詞でも原則として、可算的にも非可算的にも用いることができる仕組みが用意されている」からである。一例をあげるなら、本来は非可算的で部分冠詞がつく **vin** (ワイン) という語でも、**C'est un très bon vin.** (これはとてもよいワインだ) のように、種類・性質の概念が導入されると、とたんに可算的になり不定詞がつく(項目によっては、(*種類を問題にするときは㊪)と注記したものもある)。

にもかかわらず、この辞典で㊦㊦を表記することにしたのは、ある名詞を普通の意味で使うときに不定冠詞をつけるか部分冠詞をつけるかは、初学者にとって重要な情報であるにもかかわらず、いままでの辞書では用例を通して間接的にしかわからなかったからである。この辞典では、学習辞典としての性格をはっきりさせるために、あえて単純化の批判を覚悟で、㊦㊦の区別を示した。

名詞の可算・非可算の仕組みについてのより詳しい説明は、巻末の文法解説Ⅰ(6)を参照してもらいたい。

VI. 動詞の活用について

活用パターン

- (1) 重要な不規則動詞と、第1群規則動詞で綴り字の一部変化する動詞を中心に、見出し語の後に活用パターンを示した。

〈活用パターンで用いた略語〉

現分 = 現在分詞

過分 = 過去分詞

直現 = 直説法現在

n. = nous 1人称複数形

直未 = 直説法単純未来

v. = vous 2人称複数形

半過 = 直説法半過去

単過 = 直説法単純過去

条現 = 条件法現在

接現 = 接続法現在

接半 = 接続法半過去

命令 = 命令法

- (2) その他の動詞は、巻末の動詞活用の番号を次のように示した。

ameririr ㊦㊦ 着水する

代名動詞の 過去分詞の 一致

- (3) 代名動詞には、複合時制にしたとき、過去分詞が主語と性・数の一致を行うものと、過去分詞が不変化のものとがある。重要動詞については、一致するものを(◆過去分詞一致)、不変化のものを(◇過去分詞一致なし)として示した。

VII. 語義・訳語

語義の区分・ 代表語義

- (1) 語義分類は、各品詞ごとに **1**、**2**、**3** のようにアラビア数字を用いて示した。各語義番号のなかで意味の区切りを示す場合は、(セミコロン)を用いた。見出し語の語義に大きな区分がある場合は、**A****B**を用いて大きく分け、それぞれの中でさらに、**1**、**2**、**3** で分類した。また、D ランク以上の重要語については、代表的な訳語を太字で示した。

article ㊦ **1** 品物、商品 **2** 記事、論説；論文 **3** 項目…

monde ㊦ **A** **1** 世界、地球… **2** 世の中…

B **1** 《集合的に》人；人々… **2** 仲間、一族…

より細かい区分が必要な場合は、**1**、**2**、**3** のさらに下に a)、b)、c) や ①、②、③ を用いて下位区分を示した。

語義の補足 説明

- (2) 訳語に対する補足説明や省略可能な部分を () に入れて示した。

sacoché ㊦ (つりひものついた革・布製の) かばん

télescope ㊦ (反射式) 天体望遠鏡

訳語のうち、直前の語句と交替可能なものは [] に入れて示した。

aprentissage ㊦ 徒弟[年季]奉公

この例では「徒弟奉公」「年季奉公」の両方の訳語が可能であることを示す。

- (3) 他動詞については、直接目的語にあたる部分を、先頭の訳語に「…を」「…に」などを付けて示した。

nettoyer 他動 1 …を掃除する, きれいにする

saluer 他動 1 …に挨拶する

主語・目的語の 限定

- (4) 動詞の主語・目的語などが特定の意味の語に限られるときは、[] に入れて示した。

amerrir 自動 [飛行機・宇宙船などが] 着水する

collecter 他動 [寄付・署名など] を集める, 募る

VIII. 用 例

用例

- (1) 用例は各語義の後に ♪ を付けて示した。

- (2) 用例中の見出し語に相当する部分は、句用例では原則として ~ で示した。

papier 名 1 紙 ♪ *une feuille de ~* 1 枚の紙

ただし、C ランク以上の重要語の文用例、および一部の特殊な語については、綴りをすべてイタリック体で示した。

adresse 名 1 住所 ♪ *Avez-vous son adresse?*

彼 (女) の住所をご存じですか

- (3) 用例中の見出し語の複数形・女性形は、原則どおりの場合や、語末に -le, -x を付ける場合は、~s, ~e, ~le, ~x で示した。

gant 名 1 手袋 ♪ *mettre des ~s* 手袋をはめる

petit, e 形 1 小さい, 背が低い ♪ *~e maison* 小さな家

actuel, le 形 1 現在の, 今の ♪ *à l'époque ~le* 現在

は

名詞・形容詞の複数形・女性形が複雑な場合や、動詞の変化形については、綴りをすべてイタリック体で示した。

nombreux, se 形 1 多くの, たくさんの ♪ *nombreuse visites* 度重なる訪問

agiter 他動 1 …を揺り動かす, 振る ♪ *Le vent agitait violemment les feuilles.* 風が木の葉を激しく揺り動かしていた

- (4) 用例中の動詞の目的語や前置詞の補語にあたる部分は、フランス語では … で、訳語の日本語では…で示した。

acheter 他動 1 …をかう, 購入する ♪ *~ … cher* …を高くかう

sauver 他動 …を救う, 助ける ♪ *~ la vie à …* …の命を救う

- (5) 用例においても、省略可能な語は () で、直前の語句と入れ替え可能なものは [] で示した。

acheter 他動 1 …をかう, 購入する ♪ *~ … (au) comptant* …を現金でかう

chômage 名 1 失業 ♪ *être au [en] ~* 失業中である

- (6) 用例の [] 内の語句と入れ替え可能な語句の先頭は「で」で示した。

lit 名 ベッド ♪ *chambre [à un ~ [à deux ~s]]* シングル [ツイン] の部屋

この例の場合, **chambre à un lit**「シングルの部屋」, **chambre a deux lits**「ツインの部屋」を意味する。

IX. 成 句

重要成句

- (1) 成句は原則として, 見出し語の各品詞の最後に太字イタリック体でまとめて示した。
 (2) 成句の中でも重要なものは, 赤字にして*をつけて示した。
 (3) 成句に意味が複数ある場合は, ①, ②, …で示した。
dans l'intimité ① 私生活では, ふだんは ② 内輪で

X. 重要会話表現, 会話表現, 会話つなぎ表現

重要会話表現 と会話表現

- (1) 見出し語を用いた表現で, 日常会話でよく用いられる基本的な表現と決まり文句を, [重要会話表現], [会話表現]として囲みにした。

agir の項目

[重要会話表現]

De quoi s'agit-il? どうしたのですか, 何のことですか, 何が問題になっているのですか

tarte の項目

[会話表現]

C'est de la tarte. そいつはいともかんたんなことさ

会話つなぎ 表現

- (2) 見出し語を用いた表現で, 会話での応答や合いの手として利用価値の高い表現を, [会話つなぎ表現]として示した。

évidemment の項目

[会話つなぎ表現]

Évidemment. 《同意を示す》もちろん ㊦
 «Tu viens avec moi? — *Évidemment!*»
 「私と一緒に来ますか」「もちろん」

XI. 構文指示

訳語での 構文指示

- (1) 見出し語が, 常に特定の前置詞などとともに用いられるときは, 訳語の先頭に〈 〉で示した。

résister ㊦ 〈à ... に〉抵抗する

additionné, e ㊦ 〈de ... が〉加えられた, 混ざった

- (2) 見出し語が, 特定の前置詞などとともに用いられることが多いときは, 訳語の後に〈 〉で示した。

adéquat, e ㊦ 適切な, 適当な 〈à ... に〉

用例中の 構文指示

- (3) 用例中の構文指示は, ◆ 〈 〉で示し, その構文の訳に続いて用例をあげた。

aider の項目

◆ 〈aider ... à ㊦ ㊦〉[人] が…するのを助ける: Il a aidé le

vieillard à monter l'escalier. 彼は老人が階段を上るのを助けた

構文の訳が自明な場合は、省略した。

apprendre の項目

◆ 〈apprendre que 直説法〉: J'ai appris que tu t'étais marié. 君が結婚したことを知りました

XII. ポイント

見出し語の使い方で、特に注意すべき点を[ポイント]として示した。

pauvre の項目

[ポイント]

新聞・テレビなどで政治・社会問題として貧困を取り上げるときは、**défavorisé** (恵まれない), **économiquement faible** (経済的弱者の) を用いる。会話においては **modeste** (つつましい) で言い換えることが多い。

XIII. 類 語

- (1) 類語のうち特に重要なものは、「類語パネル」で簡明に表示した。
- (2) それ以外の場合は、囲み記事で意味の違いを解説した。

XIV. その他の情報

見出しの語の意味・用法・文化的背景などさまざまな情報を(＊)の注記や囲み記事として載せた。

XV. ジェスチャー、概念イラスト

- (1) 見出し語と関連のあるジェスチャーをイラストで示し、そのしぐさの説明と、ジェスチャーといっしょに使われる表現の例をあげた。
- (2) 見出し語の語義のうち、図示することにより理解が深まると思われるものについては、その意味をイラストや図で解説した。

<品詞ラベル一覧>

[名]	男性および 女性名詞
[男]	男性名詞
[女]	女性名詞
[男/女]	男性または 女性名詞
[固有]	固有名詞
[副・句]	副詞句
[前・句]	前置詞句

[接・句]	接統詞句	[代(指示)]	指示代名詞
[間投・句]	間投詞句	[代(人称)]	人称代名詞
[形(指示)]	指示形容詞	[代(所有)]	所有代名詞
[形(所有)]	所有形容詞	[代(疑問)]	疑問代名詞
[形(疑問)]	疑問形容詞	[代(関係)]	関係代名詞
[形(関係)]	関係形容詞	[代(不定)]	不定代名詞
[形(不定)]	不定形容詞		
[形(男性形のみで)]	男性形のみで用いられる形容詞		
[形(女性形のみで)]	女性形のみで用いられる形容詞		

[自動]	自動詞
[他動]	他動詞
[間他動]	間接他動詞
[代動]	代名動詞
[非人称動]	非人称動詞
[副(疑問)]	疑問副詞
[副(関係)]	関係副詞
[要素]	接頭辞・ 語形要素

＜類語パネルー覧＞

aider	34	couper	336	goût	676	prix	1127
aimer	36	crime	350	grand	679	rassembler	1183
ami	52	cuire	357	habiller	694	remarquer	1211
annoncer	61	décider	377	histoire	709	renverser	1220
avancer	111	défendre	386	intéressant	762	réunion	1243
bœuf	156	dur	469	loin	831	rivière	1256
boire	158	école	478	machine	842	roman	1258
bois	158	écrire	481	maison	848	sac	1271
casser	212	élève	491	médecin	873	(se) souvenir	1342
(à) cause (de)	215	enfant	515	mettre	886	train	1426
chaud	244	enseigner	524	montre	911	vin	1487
chemin	246	faire	584	odeur	962	visage	1490
cheveu	250	frapper	639	permettre	1038	voir	1498
correct	326	gare	658	pièce	1054	voyageur	1507
(se) coucher	331	gâteau	659	prêter	1120		

＜集合イラスト一覧＞

bœuf (牛肉)	157	pain (パン)	993
bouteilles et verres (ボトルとグラス)	175	position (姿勢)	1095
football (サッカー)	625	rugby (ラグビー)	1269
fromage (チーズ)	645	siège (いす)	1313
légumes (野菜)	815	signalisation routière (交通標識)	1315
ordinateur individuel et papeterie (パソコンと文房具)	977	vêtements (衣服)	1481

＜略語表＞

【医】	医学	【社】	社会学	【薬】	薬学
【印】	印刷	【宗】	宗教	【料】	料理
【織】	織物	【修】	修辞学	【獵】	狩猟
【化】	化学	【商】	商業	【林】	林業
【薬】	薬学	【情報】	情報科学	【ローマ神】	ローマ神話
【海】	海事・航海		情報理論	【論】	論理学
【解】	解剖		コンピューター		
【楽】	音楽	【植】	植物名・植物学	【古】	古語
【カト】	カトリック教	【心】	心理学	【文】	文語
【機】	機械	【数】	数学	【詩】	詩語
【ギ神】	ギリシャ神話	【政】	政治	【話】	話し言葉
【軍】	軍事・軍隊	【聖】	聖書	【俗】	俗語
【経】	経済学	【精医】	精神医学	【隠】	隠語
【劇】	演劇	【生化】	生化学	【稀】	稀な語
【建】	建築	【哲】	哲学	【略】	略語
【言語】	言語学	【動】	動物名・動物学	【方】	方言
【鉱】	鉱物学	【天】	天文学	【学生】	学生の隠語
【光】	光学	【農】	農業・農学	【軍隠】	兵士の隠語
【ギリシャ】	古代ギリシャ	【美】	美術・美学	【船隠】	船員の隠語
【古生】	古生物学	【舞】	舞踊	【カナダ】	カナダの方言
【古ローマ】	古代ローマ	【服】	服飾	【技術】	技術用語
【昆】	昆虫	【文史】	文学史	【学術】	学術用語
【財】	財政	【文法】	文法用語	【諺】	諺・格言
【詩】	詩学・作詩法	【法】	法律学		
【史】	歴史	【紋】	紋章学	(英)	英語
【写】	写真	【治】	冶金学	(米)	米語

A

A¹, **a¹** /a/ ㊦ 1 ア (フランス字母の第1字) 2 ㊦ 楽
イ音 (フランス語では la)

de A à Z; depuis A jusqu'à Z A から Z まで、
初めから終わりまで

ne savoir ni A ni B A も B も [イロハも] 知らない、
初歩的な知識もない; 無学である

prouver par 「A plus B [A + B] (A 足す B は
… というように) 理詰めで証明する

A² ① à の大文字 ② ampère (アンペア) の記号

③ bombe A 原子爆弾 (= bombe atomique)

a² ㊦ 単位 are (アール) の記号

a³ ㊦ avoir ㊦

a-¹ (ラテン語より) ㊦ 方向・目的・ある状態への移行を表す

a-² (ギリシャ語より) ㊦ 否定・欠如を表す
/a/ ㊦ (*大文字の場合はアクセント・グラフを省略して A と書くことが多い) ㊦ to, at, in

《定冠詞との縮約》

à + le → au (*発音は /o o/)

à + les → aux (*発音は /o o/, 後続の母音・
無音の h とリエゾンする)

à + la, à + l' は縮約しない

*地名に含まれる定冠詞とは縮約する: à + le
Caire → au Caire (カイロに)。人名に含まれる
定冠詞とは縮約しない: à + Le Corbusier
→ à Le Corbusier (ル・コルビュジエに)

㊦ à + (代) 名詞 ㊦ …に, …で, …へ: …の
《場所・方向》 ㊦ à Paris パリに[で, へ]

《時刻》 ㊦ à sept heures 7 時に

《対象》 ㊦ parler à … …に話をする

《手段》 ㊦ aller à pied 徒歩で行く

《用途》 ㊦ une tasse à café コーヒーカップ

《所属》 ㊦ Ce livre est à moi. この本は私の
のだ

《付属》 ㊦ du café au lait カフェオレ

㊦ à + 不定詞

…すること ㊦ commencer à manger 食
べ始める

…すべき ㊦ J'ai beaucoup de choses à
faire. 私はすることがたくさんある

…するための ㊦ la salle à manger 食堂

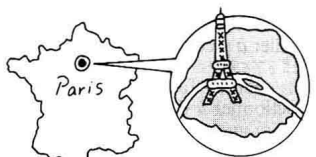
A 名詞・代名詞をともって

1 《場所・位置》 …に, …で ㊦ J'habite à Paris.
私はパリに住んでいる / acheter du pain à la
boulangerie パン屋でパンを買う (= chez le
boulangier) / être à la maison 在宅してい

る / avoir mal à la tête 頭が痛い / La poste
est à cent mètres d'ici. 郵便局はここから 100
メートルのところにある

㊦ ポイント

▶ 原則として à は場所を点としてとらえる場合
に用い、内部の空間的な広がりを意識する場合は
dans を用いる



habiter à Paris
パリに住む

habiter dans Paris
パリの町なかに住む

▶ 子音で始まる男性国名には à と定冠詞 le が
縮約した au (複数なら aux) を用いる: au
Japon 日本に, aux États-Unis アメリカ合
衆国に

▶ その他の国名には en を用い冠詞を省く: en
France フランスに ⇒ en 《地名と前置詞》

2 《方向・方角》 …へ, …に ㊦ Il va à Tokyo.
彼は東京に行く / tourner à droite 右に曲がる /
Monaco est à l'est de Nice. モナコはニースの
東にある / lancer une pierre à un chien 犬に
石を投げる

3 《時刻・時点・時代・年齢》 …に ㊦ se lever à
sept heures 7 時に起きる / à Noël クリスマスに /
au mois de juin 6 月に (* en juin とも言う) /
le 8 au soir 8 日の夜に / à l'heure actuelle 目
下の時点で / au printemps 春に / au XX^e
siècle 20 世紀に / au Moyen Âge 中世に / à
(l'âge de) trente ans 30 歳で / ㊦ 別れの挨拶として
À demain. また明日 / À lundi. では月曜日
に / À la semaine prochaine. また来週 (*これ
らの語はこの用法以外では à を用いない: Il vient
demain [lundi, la semaine prochaine]. 彼は
明日 [月曜日, 来週] 来る)

㊦ ポイント

printemps 以外の季節には en を用いる: en
été (夏に)。ただし修飾語がつくと à: à l'été
de 1941 (1941 年の夏に)

4 《対象》 …に ㊦ 《動詞の間接目的語》 ▶ 動詞
+ à ㊦ parler à … …に話をする / À quoi
penses-tu? 何を考えているの (*この構文をとる動